



令和6年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年7月12日

上場会社名 アクサホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3536 URL <https://www.axas-hd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久岡 卓司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 新藤 達也 TEL 078-391-4000
 四半期報告書提出予定日 令和6年7月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年8月期第3四半期の連結業績（令和5年9月1日～令和6年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 6年8月期第3四半期 | 8,966 | 6.0 | 17 | △89.3 | △78 | — | △111 | — |
| 5年8月期第3四半期 | 8,457 | △2.3 | 166 | △56.6 | 79 | △72.5 | 58 | △78.1 |

(注) 包括利益 6年8月期第3四半期 △79百万円 (ー%) 5年8月期第3四半期 65百万円 (△74.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 6年8月期第3四半期 | △3.69 | — |
| 5年8月期第3四半期 | 1.92 | — |

※ 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 6年8月期第3四半期 | 17,062 | 1,878 | 11.0 | 61.96 |
| 5年8月期 | 17,594 | 2,079 | 11.8 | 68.57 |

(参考) 自己資本 6年8月期第3四半期 1,878百万円 5年8月期 2,079百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 5年8月期 | — | 0.00 | — | 4.00 | 4.00 |
| 6年8月期 | — | 0.00 | — | | |
| 6年8月期（予想） | | | | 4.00 | 4.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 配当金の内訳

令和5年8月期期末 普通配当2円00銭 特別配当2円00銭

3. 令和6年8月期の連結業績予想（令和5年9月1日～令和6年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,386 | 12.0 | 411 | 124.4 | 280 | 740.3 | 260 | — | 8.57 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|---------|-------------|---------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 6年8月期3Q | 30,325,252株 | 5年8月期 | 30,325,252株 |
| ② 期末自己株式数 | 6年8月期3Q | —株 | 5年8月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 6年8月期3Q | 30,325,252株 | 5年8月期3Q | 30,325,252株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（令和5年9月1日から令和6年5月31日まで）のわが国の経済は、インフレと金融不安による信用収縮が実体経済の下押し圧力となっていることや米国大統領選の不透明感等により世界的な景気後退リスクが広がっております。国内においては、内需の回復やインバウンド需要の拡大に伴う雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直し等により、景気は緩やかな回復基調にあります。一方で、為替市場の円安の長期化やロシア・ウクライナ危機を起因とした原材料や資源価格の高騰等により生活必需品の値上げが相次ぐ等、消費者の体感インフレが高まっております。そのような経済環境のなか、当社グループは、お客様の日常から最も近いところから「本当にいいものや必要とされるものを見極める感性を磨き続け、良質な提案をスピーディーにお届けすること」を最重要使命とし、グループ全体でお客様、そして地域社会の生活文化の質的な向上を「美・健康・ゆとりの側面」から応援し、顧客満足、社員満足を高めていくことで会社満足も高め、これら3つの満足によってグループ価値の更なる向上に努め、株主様、取引先様をはじめとするすべての関係者の皆様への利益還元と社会貢献の実現を目指しております。

具体的な取り組みとして、令和6年4月、インテリア雑貨やバッグ、アクセサリ等、洗練されたオリジナリティあふれる商品構成を目指し、国内外やメジャー・マイナーを問わず、使うほどに愛着が湧く商品をセレクトしたライフスタイルショップとして「PLAZA ALEX日比谷シャンテ」（東京都千代田区）を出店、同年同月、生活雑貨、化粧品、食品等を唯一無二の世界観で、生活を美しくするアイテムを取り揃えている「&1u1uマークイズ福岡もち」（福岡市中央区）を出店いたしました。一方で、同年3月、「アレックスコンフォートいこらも〜る泉佐野」（大阪府泉佐野市）を閉店いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、40店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績につきましては、売上高は8,966百万円（前年同四半期比6.0%増）となり、営業利益は17百万円（同89.3%減）、経常損失は78百万円（前年同四半期は経常利益79百万円）となりました。特別損失及び法人税等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は111百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益58百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 小売事業

小売事業につきましては、ヘルス&ビューティーケアユニットでは、外出機会の増加に伴い、日中の乾燥を防ぐ新ブランドのスキンケア商品や高級・高付加価値のフレグランス商品が好調に推移した一方で、前年同四半期好調だったメイク関連商品やファンデーション等の販売が苦戦いたしました。

ライフスタイルユニットでは、外出機会の増加に伴い、アイウェア関連商品や日傘・帽子等外出用のアイテムが好調に推移した一方で、家ナカを楽しむキッチン用品等の販売が苦戦いたしました。

アスレユニットでは、プロサッカーチーム関連の大口販売やメンズトップス商品の売上が好調に推移した一方で、クロスジャージ等の売上が苦戦いたしました。

ホームキーパーユニットでは、園芸用品や電動工具等の販売が好調に推移した一方で、花苗やサイクルパーツの販売が苦戦いたしました。

アルコユニットでは、急激な円安によるインバウンド効果もあり、各WHISKY専門店での販売が好調に推移した一方で、前年同四半期好調だった高級シャンパンの販売が苦戦いたしました。

EC（無店舗小売販売）では、新たに取り扱いを始めた国内化粧品や幼児用食器等が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は6,328百万円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益は78百万円（同50.2%減）となりました。

② 卸売事業

卸売事業につきましては、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に分類される等、市場環境は大きく変わりましたが、消費動向に大きな変化が見られず、ナイトマーケットを中心とした業務市場は厳しい環境が続きました。特に、ラグジュアリー的な要素が強いシャンパンの消費の回復が見られず、売上は低調に推移いたしました。一方で、様々な商品の値上げが続く中、価格訴求の強いワンコインワインや家飲み需要に適したコストパフォーマンスの高い低価格ウイスキー等は堅調に推移いたしました。六甲山蒸溜所においては、全国的な展示会や専門的な展示会等へ積極的に出展したことで、認知度の向上とともに取扱い先も拡大したことに加え、シンガポール事務所を設置し、海外展示会への出品等、アセアン地域を中心とした海外への販路開拓も実施したことにより、売上は順調に推移いたしました。しかし、ナイトマーケットを中心とした高価格帯商品の低迷と価格競争等

が影響し、当セグメントの総利益額を押し上げるには至りませんでした。

これらの結果、売上高は2,796百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は66百万円（同70.6%減）となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、所有物件の価値を維持、向上させることにより、引き続き既存テナントから安定した売上を確保しております。

これらの結果、売上高は492百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は179百万円（同20.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,062百万円（前期末比3.0%減）となり、前連結会計年度末に比べ531百万円減少いたしました。これは主に、棚卸資産492百万円等の減少によるものであります。

負債合計は15,183百万円（同2.1%減）となり、前連結会計年度末に比べ331百万円減少いたしました。これは主に、未払金1,102百万円等の減少に対し、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金718百万円、1年内償還予定の社債を含む社債200百万円等の増加によるものであります。

純資産合計は1,878百万円（同9.6%減）となり、前連結会計年度末に比べ200百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失111百万円、配当金の支払121百万円等による利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は11.0%（前期末比0.8ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和5年10月13日付「令和5年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和5年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (令和6年5月31日) |
|---------------|------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 797,917 | 785,175 |
| 売掛金 | 447,364 | 497,866 |
| 棚卸資産 | 4,939,931 | 4,447,863 |
| 預け金 | 29,754 | 14,895 |
| 未収還付法人税等 | 33,664 | — |
| その他 | 186,507 | 155,153 |
| 貸倒引当金 | △2,132 | — |
| 流動資産合計 | 6,433,007 | 5,900,954 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,227,634 | 2,208,787 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 276,184 | 247,146 |
| 什器備品(純額) | 214,607 | 292,238 |
| リース資産 | 13,498 | 25,035 |
| 土地 | 6,446,032 | 6,446,032 |
| 建設仮勘定 | 881 | — |
| 有形固定資産合計 | 9,178,837 | 9,219,240 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 541,664 | 514,507 |
| 借地権 | 58,348 | 58,348 |
| ソフトウエア | 42,140 | 109,619 |
| ソフトウエア仮勘定 | 37,961 | — |
| 電話加入権 | 7,821 | 7,821 |
| 無形固定資産合計 | 687,936 | 690,297 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 134,711 | 174,143 |
| 繰延税金資産 | 322,340 | 329,710 |
| 敷金及び保証金 | 537,878 | 532,804 |
| 破産更生債権等 | 4,686 | 4,686 |
| その他 | 286,891 | 203,803 |
| 貸倒引当金 | △4,686 | △4,686 |
| 投資その他の資産合計 | 1,281,822 | 1,240,460 |
| 固定資産合計 | 11,148,596 | 11,149,998 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 12,775 | 11,821 |
| 繰延資産合計 | 12,775 | 11,821 |
| 資産合計 | 17,594,380 | 17,062,774 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和5年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (令和6年5月31日) |
|---------------|------------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 543,197 | 516,952 |
| 短期借入金 | 8,340,082 | 8,320,000 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 298,251 | 388,251 |
| リース債務 | 4,331 | 7,086 |
| 未払法人税等 | 27,807 | 16,990 |
| 賞与引当金 | 22,518 | 34,652 |
| 未払金 | 1,248,354 | 145,761 |
| その他 | 203,222 | 95,088 |
| 流動負債合計 | 10,687,765 | 9,824,781 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 600,000 | 500,000 |
| 長期借入金 | 3,540,490 | 4,168,677 |
| リース債務 | 10,954 | 20,940 |
| 役員退職慰労引当金 | 100,449 | 100,632 |
| 資産除去債務 | 203,420 | 200,302 |
| 受入保証金 | 337,492 | 338,952 |
| 繰延税金負債 | — | 2,719 |
| その他 | 34,446 | 26,908 |
| 固定負債合計 | 4,827,252 | 5,359,134 |
| 負債合計 | 15,515,018 | 15,183,916 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 50,000 | 50,000 |
| 資本剰余金 | 1,686,487 | 1,686,487 |
| 利益剰余金 | 327,334 | 94,077 |
| 株主資本合計 | 2,063,821 | 1,830,564 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,540 | 48,293 |
| その他の包括利益累計額合計 | 15,540 | 48,293 |
| 純資産合計 | 2,079,361 | 1,878,858 |
| 負債純資産合計 | 17,594,380 | 17,062,774 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年9月1日 至 令和5年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年5月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 8,457,516 | 8,966,484 |
| 売上原価 | 6,120,927 | 6,653,509 |
| 売上総利益 | 2,336,589 | 2,312,975 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 704,169 | 672,030 |
| その他 | 1,466,242 | 1,623,206 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,170,412 | 2,295,237 |
| 営業利益 | 166,176 | 17,738 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 212 | 166 |
| 受取配当金 | 1,071 | 1,413 |
| その他 | 4,946 | 8,323 |
| 営業外収益合計 | 6,230 | 9,904 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 74,283 | 81,902 |
| 為替差損 | 4,550 | 12,438 |
| その他 | 14,521 | 11,688 |
| 営業外費用合計 | 93,356 | 106,029 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 79,050 | △78,387 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 2,668 |
| 特別利益合計 | — | 2,668 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,253 | 9,927 |
| 閉店損失 | — | 29,270 |
| 固定資産売却損 | — | 433 |
| その他 | — | 4 |
| 特別損失合計 | 1,253 | 39,634 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 77,797 | △115,353 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 19,221 | 18,193 |
| 法人税等調整額 | 412 | △21,590 |
| 法人税等合計 | 19,634 | △3,397 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 58,163 | △111,956 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 58,163 | △111,956 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年9月1日 至 令和5年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年5月31日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 58,163 | △111,956 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,692 | 32,753 |
| その他の包括利益合計 | 7,692 | 32,753 |
| 四半期包括利益 | 65,855 | △79,202 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 65,855 | △79,202 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和4年9月1日 至 令和5年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報 告 セ グ メ ン ト | | | |
|-------------------|---------------|-----------|---------|-----------|
| | 小 売 事 業 | 卸 売 事 業 | 不動産賃貸事業 | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,587,211 | 2,401,471 | — | 7,988,682 |
| その他の収益 | — | — | 467,372 | 467,372 |
| 外部顧客への売上高 | 5,587,211 | 2,401,471 | 467,372 | 8,456,054 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,975 | 272,279 | 3,439 | 278,695 |
| 計 | 5,590,186 | 2,673,751 | 470,812 | 8,734,750 |
| セグメント利益 | 157,933 | 226,393 | 149,504 | 533,832 |

(単位:千円)

| | その他(注)1 | 合 計 | 調整額(注)2 | 四半期連結損益計算書計上額(注)3 |
|-------------------|---------|-----------|----------|-------------------|
| 売上高 | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,462 | 7,990,144 | — | 7,990,144 |
| その他の収益 | — | 467,372 | — | 467,372 |
| 外部顧客への売上高 | 1,462 | 8,457,516 | — | 8,457,516 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 278,695 | △278,695 | — |
| 計 | 1,462 | 8,736,212 | △278,695 | 8,457,516 |
| セグメント利益 | 1,268 | 535,100 | △368,923 | 166,176 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△368,923千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 令和5年9月1日 至 令和6年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報 告 セ グ メ ン ト | | | |
|-------------------|---------------|-----------|---------|-----------|
| | 小 売 事 業 | 卸 売 事 業 | 不動産賃貸事業 | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,966,476 | 2,509,459 | — | 8,475,936 |
| その他の収益 | — | — | 489,455 | 489,455 |
| 外部顧客への売上高 | 5,966,476 | 2,509,459 | 489,455 | 8,965,391 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 362,462 | 287,512 | 3,477 | 653,452 |
| 計 | 6,328,939 | 2,796,972 | 492,932 | 9,618,844 |
| セグメント利益 | 78,590 | 66,502 | 179,448 | 324,541 |

(単位：千円)

| | その他（注）1 | 合 計 | 調整額（注）2 | 四 半 期 連 結 損 益 計 算 書 計 上 額（注）3 |
|-------------------|---------|-----------|----------|-------------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,092 | 8,477,029 | — | 8,477,029 |
| その他の収益 | — | 489,455 | — | 489,455 |
| 外部顧客への売上高 | 1,092 | 8,966,484 | — | 8,966,484 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 653,452 | △653,452 | — |
| 計 | 1,092 | 9,619,937 | △653,452 | 8,966,484 |
| セグメント利益 | 930 | 325,472 | △307,734 | 17,738 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△307,734千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。